

日本臨床検査医学会主催

第26回臨床検査専門医認定試験実施要領(平成21年度)

日本臨床検査医学会制定の臨床検査専門医制度により平成21年度第26回認定試験を下記の如く実施する。

1. 試験期日 平成21年8月1日(土)、8月2日(日)
2. 試験場所 慶応義塾大学病院(〒160-8582 東京都新宿区信濃町35)
3. 認定試験受験資格
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としてふさわしい人格・識見を持つこと。
 - 2) 出願時5年以上継続して日本臨床検査医学会の会員であること。
 - 3) 日本臨床検査医学会の定める研修プログラムにより、5年間の研修を修了していること。
ただし日本専門医制評価・認定機構の基本領域の学会のいずれかの認定医・専門医となった後に、臨床検査専門医を志向して研修を開始した者、または米国の臨床病理医認定試験合格者(Clinical Pathologist certified by the American Board of Pathology)およびそれと同等とみなされる外国の臨床検査専門医の認定資格を有する者についての会員歴および研修歴については別に定める(表1)。
 - 4) 必須学科として、日本臨床検査医学会の認定する認定研修施設において以下の内容の全てを含む研修を2年以上終えていること。
 - a) 臨床検査医学(臨床病理学)総論(医療倫理、医療安全も含む)、b) 一般臨床検査学、c) 臨床血液学、d) 臨床化学、e) 臨床微生物学(感染症学を含む)、f) 臨床免疫学、g) 輸血学
 - 5) 厚生労働省の認定する研修施設において選択科目として、以下の学科のうちいずれか一学科を一年以上研修していること。
 - a) 病理学、b) 臨床医学(日本専門医認定制機構の基本領域における卒後初年度臨床研修プログラムないしは総合診療方式によるものを原則とする。)ただし日本専門医制評価・認定機構での基本領域の学会のいずれかの認定医・専門医資格を有する者、または米国の臨床病理医認定試験合格者およびそれと同等とみなされる外国の臨床検査専門医資格を有する者は、選択科目の研修および選択科目の試験は免除される。
 - 6) 臨床検査室等での日常業務内容を証明する、各種のコンサルテーション記録、骨髄像報告書、免疫電気泳動報告書、染色体分析報告書、その他の臨床検査専門医による解釈・コメント付き検査報告書、On-Callカンファレンス記録等20編を提出すること。
ただし病理組織診断業務に関するもの、内科等の診療業務内容を主とする病歴要約等は含まない。
 - 7) 臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち原著論文が少なくとも1編以上あること)。
原則として、5年間の研修期間中に雑誌「臨床病理」あるいは日本臨床検査医学会もしくはその関連学会に発表したものであることが望ましい。
 - 8) 研修指導者の推薦があること。
4. 願書配布期間 平成21年4月1日(水)～4月30日(木)
5. 願書提出期間 平成21年5月7日(木)～5月16日(土)(当日消印有効)
簡易書留郵便で送付のこと。

- 6. 提出書類** 1) 認定試験受験願書
 2) 履歴書
 3) 報告書一覧表及び報告書コピー
 4) 研究業績報告書及び原著論文, 学会報告コピー
 5) 研修指導者の推薦書
 6) 郵便振替用紙コピー(受験料納入証明)
- 7. 受験料** 50,000 円, 再試験受験の場合 20,000 円
 なお, 一度納入された受験料は返金しない。
 平成 21 年 5 月 16 日(土)までに学会の郵便振替口座に送付すること。
 郵便振替口座: 東京 00140-9-613334
 加入者名: 日本臨床検査医学会
- 8. 合否発表日** 平成 21 年 8 月 12 日(水)(予定)に HP に掲載し, 個別に合否結果を送付する。
- 9. 願書請求及び送付先** 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-2 UI ビル 2F
 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 係
 郵送にて請求のこと。角 2 封筒に 200 円切手を貼り, 送付先住所, 氏名を記載のうえ, 上記へ送付して下さい。
 TEL: 03-3295-0351 FAX: 03-3295-0352
 E-mail: office@jslm.org
- 備考: 資格認定証** 認定試験に合格した者は登録料 30,000 円を納入し, 認定証を受領するものとする。

表 1: 平成 21 年度受験資格概略一覧表

- 1) 日本臨床検査医学会臨床検査専門医制度(平成 19 年 3 月 31 日改訂)を熟読してください。
 2) 受験は原則として基本型の受験区分を推薦します。

受験者区分	受験時に必要な 会員歴	報告書・記録等 による研修内容 の証明 ^E	選択科目の受験 ^F	臨床検査医学に 関する研究業績 ^G	備考
1. 基本型 ^A	原則として 5 年	20 編	必要	筆頭者として 3 編以上	認定証の申請には 5 年の会員歴が必要
2. 他の基本領域の 学会の専門医資格を 取得しているもの ^B	3 年 ^D	20 編	不要	筆頭者として 3 編以上	認定証の申請には 3 年の会員歴が必要
3. 米国等の臨床病理 医認定試験合格者	2 年	20 編	不要	筆頭者として 3 編以上	認定証の申請には 2 年の会員歴が必要
4. 平成 16 年度以降 に医師免許書を取得 した者 ^C	5 年	20 編	必要	筆頭者として 3 編以上	認定証の申請には 5 年の会員歴が必要

- A. 日本専門医制評価・認定機構の合意によるもの。
 B. 受験者区分が 2.に相当する者に関しては, 当面の間, 日本臨床検査医学会の承認する教育セミナー, 教育ワークショップ等への出席をもって, その一部(ないしは全部)を替えることができる。

－臨床病理－

- C. 医学を履修する過程を置く大学に附属する病院，または厚生労働大臣の指定する病院で 2 年以上の臨床研修を修了していること。
- D. 日本専門医制評価・認定機構の定める基本領域の学会の専門医(内科は認定医でもよい)取得後(2005 年以前に取得)に，臨床検査専門医を志向し研修を開始した者は，選択科目の試験が免除され，必要な会員歴は 3 年とする。
- E. 報告書・記録等による研修内容を証明するものは，当面の間その専門分野を問わないが，必須 7 教科を網羅することが望ましい。
- F. 病理学か臨床医学(内科)のいずれかを選択受験する。
- G. 臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文，または学会報告が 3 編以上あること(ただし，そのうち原著論文が少なくとも 1 編以上あること)。
原則として，5 年間の研修期間中に雑誌「臨床病理」あるいは日本臨床検査医学会もしくはその関連学会に発表したものであることが望ましい。